

「ピカッと草津」について

在宅サービス訪宅時の駐車場問題から創る 地域包括ケアシステムの構築 ～生活支援体制整備事業の新たな地域づくり～



社会福祉法人草津市社会福祉協議会
伊藤 美紗都
秋吉 一樹

地域共生社会

1

複雑で複合化した地域の暮らしの問題

社会的つながりが弱い人、8050 問題、9060 問題、ダブルケア、ヤングケアラー、診断がない障害が疑われる人、家族崩壊、自殺、貧困、孤立、孤独、ひきこもり、虐待等の複合的課題

我がこと

丸ごと

小学校区

ご近所・自治会

草津市社会福祉協議会

社会福祉法人・NPO

生活支援体制整備事業 = 医療福祉を考える会議

行政・包括

企業

様々な課題を抱える住民を主体的に把握し解決を試みる体制
(支え合い活動支援・コーディネート・関係機関連携強化)

学区社協・民生委員・児童委員・まち協

ボランティア・学校・PTA・老人クラブ・子ども

誰もが 安心して暮らし続けられる地域

- * 困っている時に「困った」と言える地域(助けられる側、助ける側を超えたつながりの構築)
- * 制度・サービスが適切に受けられ、地域の福祉活動が充実した地域

生活支援体制整備事業第2層協議体「医療福祉を考える会議」²

★目的：住民の暮らしの問題を我が事と捉え、
共感して多くの住民へ共鳴の輪を広げていくこと。

地域住民（学区社会福祉協議会、民生委員児童委員、町内会長、各種団体等）
医師・介護事業所・地域包括支援センター・行政・市社協などが語り合う



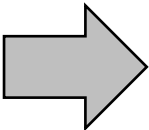
地域で「こんなことが
あったらいいな」

助け合い活動を広げる

在宅化が進んでいく背景①

滋賀県

平均寿命 (R 2)		健康寿命 (R 1)	
男性	女性	男性	女性
82.73歳	88.26歳	73.46歳	74.44歳
全国 1 位	全国 2 位	全国 4 位	全国 4 6 位



平均寿命－健康寿命	
男性	女性
9.27歳	13.82歳

厚生労働省 令和 2 年 都道府県別生命表より
厚生労働省 健康寿命の令和元年値についてより

・ 滋賀県は、平均寿命と健康寿命の差が**大きい**つまり**介護サービスが**必要な期間が長い****

草津市

要支援・要介護認定者	
R 1	R 4
4,864人	5,552人

6 8 8 人増加

在宅サービス利用者	
R 1	R 4
1,074人	1,310人

2 3 6 人増加

草津市の学区別要支援・要介護認定者と訪問サービス利用数より引用

・ これからサービスを受ける高齢者は**増加**していく

在宅化が進んでいく背景②

滋賀県民の

高齢者

人生の最期を迎えたい場所「自宅」

4 割以上

令和4年度 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査より

草津市民の

障害者

自宅で生活している方が8割
今のまま生活したい
家族と一緒に暮らしたい

8 割以上

第2次草津市障害計画
アンケート調査結果等からみえる課題と方向性より

在宅で健幸に暮らし続けたい！

住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことは？

5

高齢者

○介護する家族の負担の軽減

80%

○入浴・排せつ介護などの
訪問サービス

52%

●家族や親せき、地域の人々の理解

57.8%

令和4年度 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査より

障害者

○必要な福祉サービスが適切に利用
できること

64.2%

●障害者にとって住みやすい家が
準備されていること

33.4%

●相談できる場所や人等が充実している事

50.7%

第2次草津市障害計画
アンケート調査結果等からみえる課題と方向性より

サービスの充実と地域の理解どちらも必要！！

「在宅サービスを提供する事業所を応援する地域」 を目指して

介護保険制度・施策などの サービス

例えば・・・

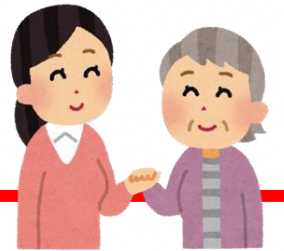
訪問介護（ホームヘルパー）や
訪問看護・デイサービス・
デイケアなど



地域の支え合い活動・理解

例えば・・・

ボランティアや家族、近隣住民、
町内会や民生委員・児童委員による
支援など



在宅サービスを提供する事業所
を応援する地域づくり

地域福祉活動の構築

第2層協議体「医療福祉を考える会議」

事業所困りごとアンケート（駐車場問題に関する項目のみ一部抜粋）

訪問の際、駐車場に困ったことがありますか	33/36 事業所	・道が狭く車が入れないため、他のところに路上駐車している ・道幅が狭く迷惑をかけていないか心配 ・複数の事業所で伺う際、車が多くなるため停めるところがない ・駐車場がない場合、コインパーキングに駐車するかコインパーキングもない場合は、利用をお断りしている
駐車違反の罰則を受けたことはありますか	11/36 事業所	
事業所の車を家の前に停めないでほしいと言われたことはありますか	17/36 事業所	・用具の搬入時、近所から家族に苦情が入った ・介護サービスを受けている事を近所に知られたくない ・事業所名が入った車は停めないでほしいと言われた ・介護サービスを受けている事が恥ずかしいと言われた

「在宅サービス訪宅時の駐車場問題」 （36事業所回答）
「サービスに対する地域の理解不足」

草津市の駐車場問題の事例

- ① 3 km離れたところに雨でも暑い中でも自転車で訪問看護
- ② 駐車場が確保できない方はお断りしている事業所
- ③ ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問看護師、訪問医が最期のお見送りに行くと近所の苦情からすべて駐車違反の切符が切られた



こんな出来事知っていましたか？

在宅サービス訪宅時の駐車場問題は全国で起きている！

9

埼玉県

- ・ 緊急で患者の家の前に停められたら、**助かる命**もあった。
- ・ 警察署に発行してもらう**駐車許可証の効力が薄い**
- ・ 医療関係の車と分かっていて**通報**される。
- ・ 警察から許可をもらっても、近所の方から**クレーム**があり、**地域住民や世の中の理解**が必要と感じる。
- ・ **精神的に追い込まれ**ながら、違反切符を切られてしまうと、在宅医療を推進されながら、**自腹**を切りながら、点数も引かれ、**モチベーションが下がって**しまう。

埼玉県看護連盟 利用者宅訪問時 駐車場状況アンケート結果より

北海道

在宅医療において最も問題になるのは、駐車場問題。

訪問診療、訪問看護に一体どれほどの**荷物**があると思っているの？

時に**20kg以上の機材**を運んでいるのに、それを運ばせようっての？

そもそも、緊急事態の時にその移動時間で**手遅れ**になるかもしれないのに。

苦勞して申請した許可証も万能ではない。

訪問診療、看護、リハビリテーションは、動けない人の元へ**駆けつける医療**。

お隣やその隣のお家の前でもとめてもいいですよ、っていう許可をしてほしいな。

医療法人社団 秀和会 ファミリークリニックこころ院長ブログの一部抜粋

ケアマネジャー・事業所の声

- 認知症の高齢者の方の対応は
想定外の時間がかかることを知ってほしい
- 温かい目で見守っていただける雰囲気づくりを
してほしい
- 支援を受けることは恥ずかしいことではない
ことを理解してほしい

地域の意識を変えてほしい



テーマを設定し段階的に在宅サービスの理解を広げる

Story 4 . . . つづく

できることを形に
していく

- ・ 利用できそうな場所に呼びかけを行う
- ・ 地域助け愛応援駐車場リストを作成

Story 3

地域でできることを考える

- ・ 利用できそうな駐車場をみんなで出し合う

Story 2

事業所の困りごとを知る

- ・ 事業所が地域に求めること
- ・ 事業所の思い



ゲームなども
取り入れながら

Story 1

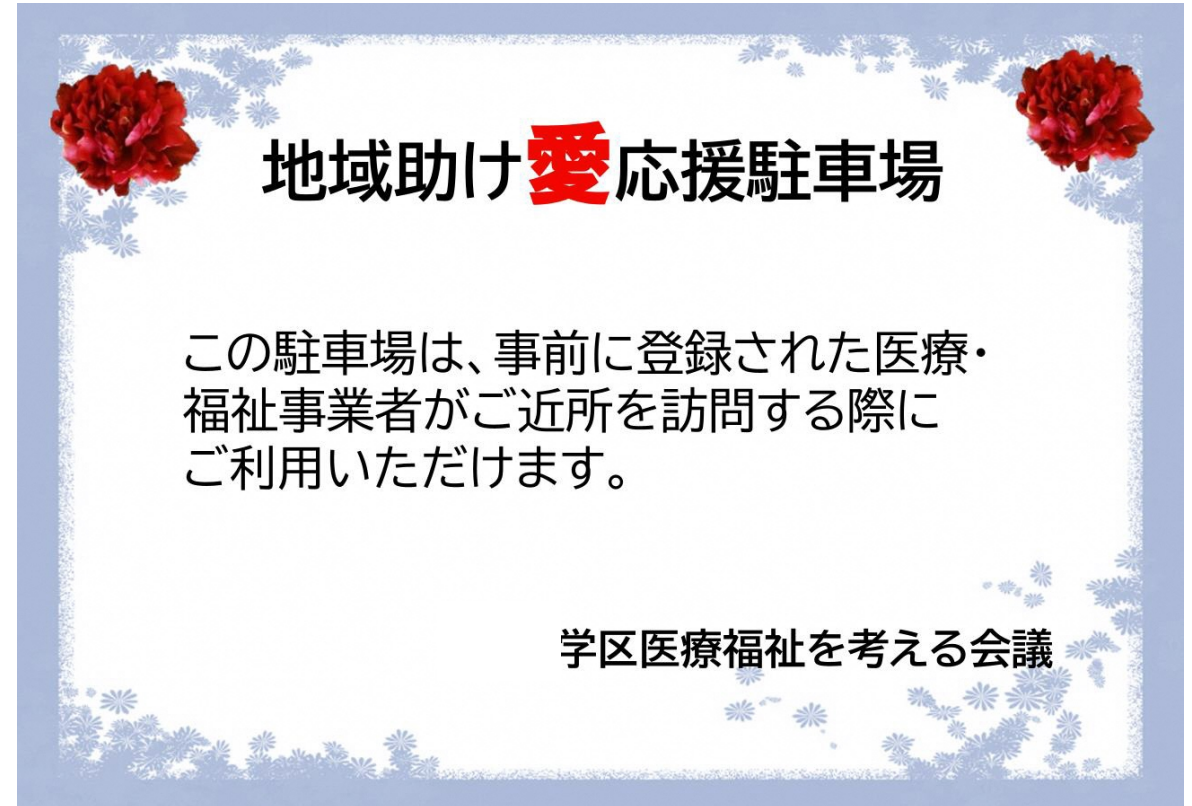
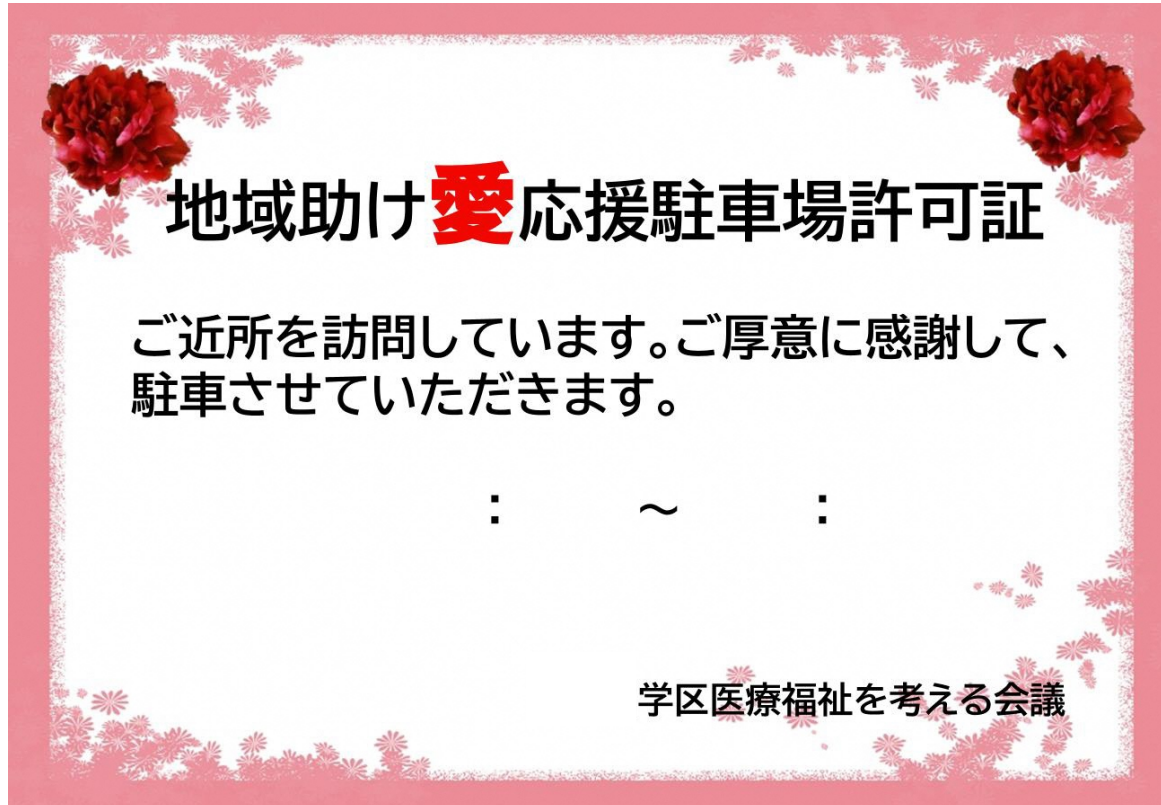
在宅化の現状を知る

- ・ 在宅高齢者が増えていく
- ・ サービスの必要性と地域理解の大切さ



3年かけて . . .

地域助け愛応援駐車場を広めていく



現状

住民意識の変化から「我が事」となった地域福祉活動の展開へ

公共機関（まちづくりセンター・隣保館など）

自治会館・町内所有の空地

事業所

民間企業・団体

個人宅 など

約 50 か所



・町内会長が自治会館・空き地を
使用できるように回覧で呼びかけ

・まちづくりセンターで
電動自転車の導入

・事業所同士の助け合いの声

・モデル学区以外の町内会長が
理解を住民に呼びかけ

・新たな学区で取組み



現状

14

地域と事業所の関係性の構築から駐車場を活用できるしくみが展開

モデル学区	在宅サービスの理解の広げ方	駐車場(地域からの宝物)の運用	備考
笠縫東 地域と地域連携	同じテーマで進めていても、それぞれの学区の特徴に応じて、進み具合や方法を変化しながら進めていった	まちづくり協議会 が実施	コーンとカードを渡す。範囲は、 市内全域の事業所 からスタート
老上・山田 地域と事業所連携		事業所が Googleマップ を使って実施	事業所同士が連携し、Googleマップで管理。範囲は、 学区内事業所 からスタート

笠縫東：許可証が付いたコーンの貸出

老上・山田：Googleマップを更新、共有

現状 地域福祉活動の広がり

15

町内会や矢倉学区でも	在宅サービスの理解の広げ方	駐車場の運用	備考
桜ヶ丘町内会 (700世帯)	自治会の取り組みとして実施	町内会で管理し、必要な事業所へ許可する	町内会長が窓口 範囲は、町内会世帯へ在宅サービスを提供している事業所
矢倉学区自治連合会 (12町内会 3,958世帯)	学区の町内会長会でアンケートを実施し、活用できそうな駐車場の掘り出しや呼びかけ	町内会からまちづくりセンターへ依頼し、まちづくりセンターで運用管理する	地域の在宅サービスへの理解を広げるだけでなく、すぐに全町内会招集し、駐車場の確保を進めている

医療福祉を考える会議
で取組を始めたことで

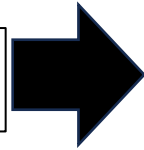


企業や神社から
使っていいよの声

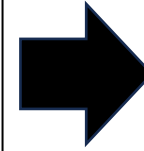
生活支援コーディネーターとして見えてきたこと

①住民の意識が変われば、事業所の意識の変化につながる

分野を越えた連携



事業所同士の
連携事業が展開



暮らしに密着した
協働のつながり



新たに同じ課題を抱える
障害福祉サービス事業所が参画！

うちの事業所の駐車場
も使っていいよ！

Googleマップで共有
するのはどうかな？

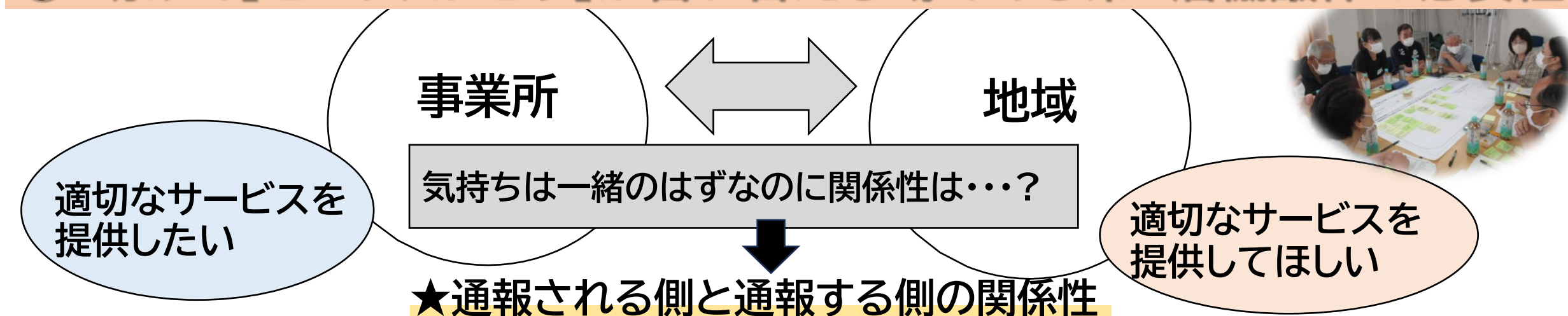


駐車場を貸してくださった方
に「ありがとうメッセージ
カード」をポストに入れるの
はどう？

主要な事業所、包括、行政が話し合い

生活支援コーディネーターとして見えてきたこと

②「助けて」と「ありがとう」が言い合える場である第2層協議体の必要性



専門職不足の深刻化にも影響			
訪問看護師	2020年	2025年	4.5万人不足
	6.8万人	11.3万人 (需要見込み)	
介護士	2022年度	2040年度	57万人不足
	215.4万人	272万人 (需要見込み)	

・看護職員確保の取組について 厚生労働省

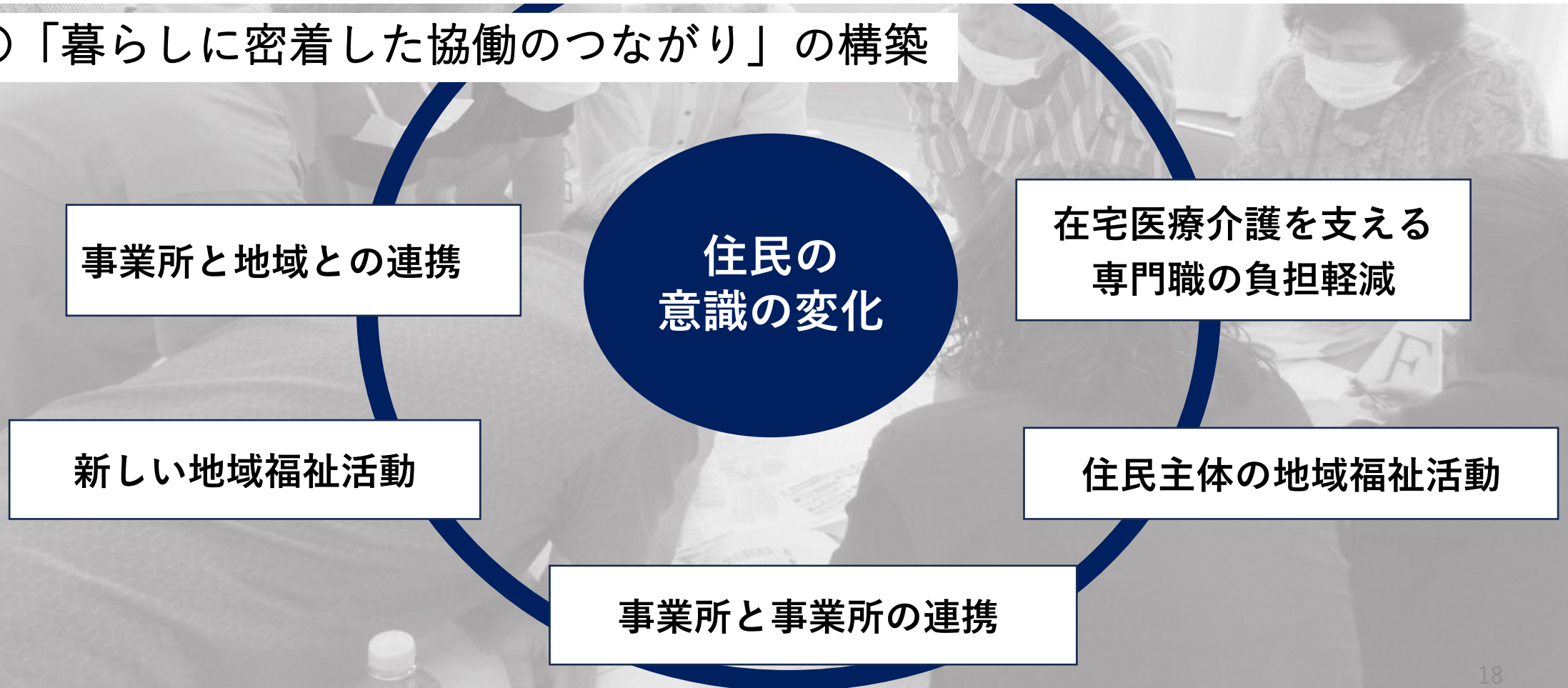
・第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について 厚生労働省

地域と事業所の関係性の構築 ➡ 在宅医療・介護を支える専門職の負担軽減

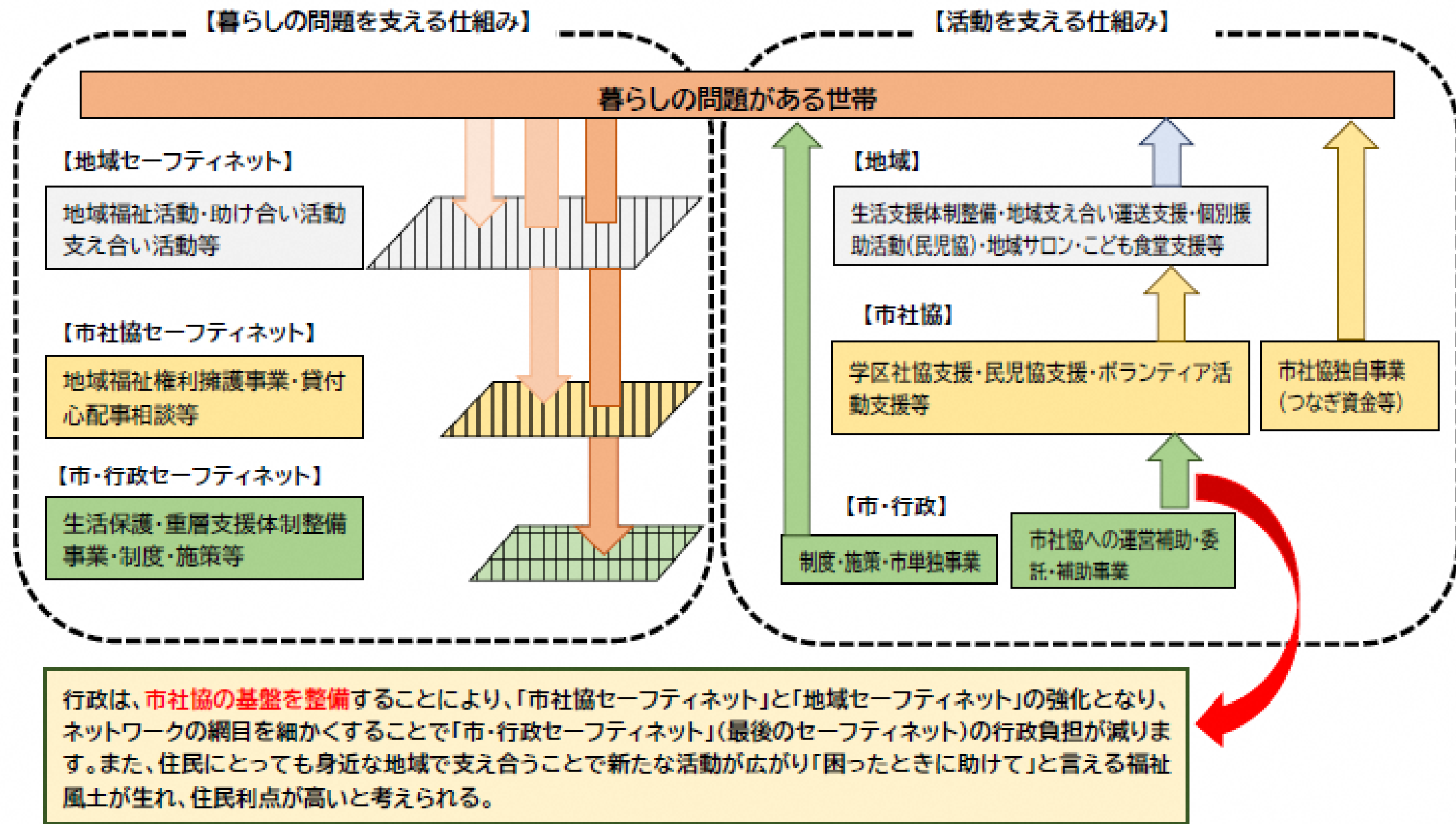
生活支援コーディネーターとして見えてきたこと

③住民の意識の変化が地域づくりの基盤である

- 持続可能かつ効果の対象を問わない公益性が高い住民主体の福祉活動の創出
- 「暮らしに密着した協働のつながり」の構築



住民の暮らしの問題を支える市社協の役割



ご清聴ありがとうございました

